



Kainan East Rotary

DISTRICT 366

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南省日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363
 例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣オ1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所4F
 会長 吉田隆一 幹事 片山博之 会報委員長 坂上充作

オ75回 例会 昭和52年1月24日(月) 於海南商工会議所

1. 開 会 司 会 谷 井 昭 三
2. ロータリーソング 「奉仕の理想」
3. 出席率 85.19% 会員総数 27名 出席者数 23名
前回修正出席率 96.30%
4. ビジター 玉置 勇様(海南R.C.) 林喜兵衛様(海南R.C.)
土橋昌和様(") 山西芳弥様(")
奥野順一様(和歌山東R.C.) 前山幸男様(和歌山東南R.C.)
西出慶二様(有田R.C.) 高河原和一様(有田R.C.)
田中瑞祐様(")
5. メイキャップ 吉田君(1/19海南R.C.)
6. 会長スピーチ

昨年12月の総会で次年度役員、理事の選出も終わっているが先日次年度役員、理事の構成メンバーによる初会合を持たれ、柳川会長エレクトのもとに次年度準備体制作りも着々と進んでいるようである。非常に力強さを感じた次オである。

私の任期6月一杯迄にはロータリーの主な行事として5月新宮で行われます地区大会。6月サンフランシスコで行われます国際大会。そして最終には地区協議会とありますが、このような会合には積極的なご参加をいただきお互いの友愛と親睦をそして知識を深めていただきたいと思います。

国際大会に就きましては当クラブの窓口は田岡国際奉仕委員長にお願いしている会務奉仕部門では先週の例会で柳川委員長から要請のありました会員増強の件ですが会員増強の重要性に十分な認識を持っていただき是非御協力のほどお願い致します。後日奥村会員増強委員長から具体的なお話があることと思う。

それから1月23日~29日迄が雑誌週間にあたっているのでのちほど楠部雑誌委員長からお話があると思います。

7. 幹事報告

◎ 例会場変更通知

茨木東R.C. 来3/3より移転 新例会場：オ一勧業銀行茨木支店

“SERVICE” I believe in ROTARY 「奉仕」ロータリーを私は信奉する

◎ 例会場臨時変更通知

大阪心斎橋R.C. 2/19(土) → 2/18(金) 18:00～於西尾

8. ニコニコ箱

山野君 奥村君 上南君 (昨日海南青年会議所卒業、今後は特別会員)
中村隆君 山本君 (1/12海南R.C.夜間例会へ無言のメイキャップ)
山田君 (新年会で福引当選)

9. クラブ協議会 楠部雑誌委員長

(1) 雑誌週間の目的

ロータリアン誌及びレビスタ・ロータリア誌に対する会員の認識を深めそれにより購読部数の増加を計る事が目的である。

(2) ロータリアン誌の内容

国際ロータリーの公式機関誌として全世界のロータリークラブの活動状況やR.I.役員活動振りを紹介し此の他に論説記事として各国の政治、経済、社会、科学、などの分野における代表的人物の時宜に適した論文を掲載している。購読料は1,160円也です。

(3) ロータリアン誌の歴史

1911年1月(明治44年)R.I.の初代事務局長チェス・ペリーによって創刊された。当初は11頁のタブロイド型新聞であったが現在ではA4判48頁の体裁をとり発行部数は47万部に達している。此の配布範囲は1975年5月現在ではロータリーの所在国151ヶ国及びロータリー非所在国7ヶ国合計158ヶ国に及び日本は8,392部を購読している。因なみに1975年5月現在の各国購読部数表を示すと

①アメリカ 362,135冊	⑥ニュージーランド 5,737冊	⑪韓国 732冊
②カナダ 24,831冊	⑦フィリピン 5,557冊	⑫イタリア 550冊
③オーストラリア 23,493冊	⑧南アフリカ 3,236冊	⑬イギリス 135冊
④インド 11,035冊	⑨ブラジル 1,180冊	⑭フランス 125冊
⑤日本 8,392冊	⑩プエルトリコ 1,006冊	

(4) ロータリアン誌の編集、発行

米国イリノイ州エバンストンの中央事務局においてR.I.会長→R.I.理事会→事務総長→マガジン・デビジョンの系統の下に行われロータリアン誌の編集長はウイルキン・ホワイ(米国)である。この他にスペイン語版のレビスタ・ロータリア誌があり約43,000部がスペイン語国(中南米方面)へ配布されている。

(5) ロータリーの地域機関誌

ロータリアンとレビスタ・ロータリアの両公式機関誌の他に各国ではR.I.の承認のもとに地区ガバナーの責任に於て地域機関誌が発刊されている。此の地域誌の発刊には各国ともロータリーの知識の普及が目的となっており、「ロータリーの友」もその中のひとつである。日本の「ロータリーの友」を含めて18ヶ国より25種類の機関誌が発行されているが部数は下記の通りである。

ザ・ロータリアン(英語) 454,191

レビスタ・ロータリア (スペイン語) 41.280

其他機関誌 (25種類) 811.475

(6) ロータリアの友に就いて

ロータリアの友は地区ガバナーの機関誌として昭和28年1月に広い意味でのロータリアインフォメーションの普及を目的として発足している。ロータリアの友はロータリアの友委員会によって運営され此の委員会の委員長は地区ガバナーの合議で決定し委嘱されたパストガバナーがその任に当り委員長は地区ガバナーに対して「ロータリアの友」運営の一切についてその責任を負っている。創刊当初 (昭和28年1月) 3,300部で23年後 (昭和51年12月現在) では73,800部におよび通巻276号を数えている。

(7) 「ロータリアの友」の発行部数と単価に就いて

昭和50年7月	72,800部	昭和50年11月	73,600部
“ 8月	73,000”	“ 12月	73,800”
“ 9月	73,000”	平均発行部数	73,300部
“ 10月	73,400”		

「ロータリアの友」の1冊当りの平均原価は229円7銭で 広告料収入が11円11銭である。したがって1冊の原価は 188円89銭となり皆様より講読料として200円いただいているので11円11銭の黒字である。

(8) ロータリアの友編集事務所よりの他の刊行物

A ロータリア手帳 B 全国会員名簿 C 著書ポールハリスの
「ロータリアの理想と友愛」、Dロータリアソング楽譜
Eロータリアソングレコード Fロータリアダイアリー
Gロータリアの友英語版

ロータリアの友英語版は毎月5000部発行しているが20%は寄贈している。

(9) ロータリアの友の内容一部を紹介

クラブの役員や委員長に特に読んでいただきたい所から紹介する。幹事にはガバナーの頁と地区だよりを、職業奉仕委員長には卓話の泉を、社会奉仕委員長には Rotary at work を情報委員長にはロータリア問答、用語、熟語の解説とエバンストン便りを雑誌委員会の皆様は勿論初めから終り迄1冊全部読んでいただきたい。賢明な会員諸君のことですから、こんな立派な雑誌ロータリアの友を全員が読まれている事と思うが、特に私が読んだ上でユニークな楽しい記事の一部を改めて紹介したい。

1966. 7月号には国内21地区の新ガバナーの横顔が紹介され我が才366地区の藤沢ガバナーは菱川先生によって紹介されている。

1966. 8月号には卓話の泉「ビールの魂」や談話室には「登録料無用の伝達式」9月号には特集として、「世界理解週間」に因なみ「世界の人々に通じる心を持とう」と題して関牧翁氏と千宗室氏との対談記、10月号には談話室「若者」や投書箱「負担金の是正を望む」等の記事、11月号には談話室「ロータリア12年あれやこれや」、友愛の広場「卓話について思う」等が私の眼にとまったので原文を読ましていただく。猶終りに臨み1977年1月号にのっている「主な行事と会議の案内」欄雑誌週間を朗読し賢明なる皆様方の雑誌週間に対する御協力をお願い致します。

私は海南に生れ海南に育ち今日に到るまで特別な体験もしていないが趣味として狩猟をやったことがある。今日は狩猟につきものの鉄砲の失敗談をお話したい。鉄砲打ちの間では3大要素として一犬、二足、三鉄砲と云われているが、私は犬を飼ったり教練したりする事の不得手なために猟の時だけ友人の犬を借用することにしてた。犬にとっては一宿一飯の義理もなく時々面識だけでは、さて本番の猟の時には飼主のように働けないのが当然で私の方が犬に引きずり廻わされたのかもわからない。足の方も日頃運動不足の私の弱足では吸う息吐く息が荒いばかりで獲物に対する集中力がぼやけて失格でした。鉄砲は少し重いが正確なものを買いましたがおうよそ精密なものほど融通のきかないものでして所詮腕の未熟さをカバーしてくれませんでした。友達と鴨猟に行ったこともある。夜明けの布陣で一斉に飛び立つ鴨群を狙い撃ちするのだが正直云って誰の撃った弾が鴨に当たったのかさっぱりわからない状態なので撃った瞬間「やったあ」と大声で叫ぶ要領が必要である。

しかし狩猟仲間ではいわれている一犬、二足、三鉄砲、共自信が無くことごとく失格に属すると思ひ此の遊びから見切りをつけた次才である。

◎ ガバナーノミニー候補に伊藤恭一君

才366地区指名委員会は12月1日付を以って1978~79年度におけるガバナーノミニー候補として大阪R.C.の現任会長である伊藤恭一君を推選することに決定した旨を宣言した。

指名委員会で10名の委員が満場一致を以って伊藤君を推選したが、そのときの条件として明記した如く、もし地区内クラブから他の候補者を提案されるのであれば11月30日を期限としてそれまでにそれを申し出でられるなら、改めて審議する方針であった。しかしこの期限までにどのクラブからも新しい提案がなかったので指名委員会はここに伊藤君の候補決定を宣言したのである。

もっとも正式には来春新宮市で開かれる地区年次大会において確定されるわけである。委員会としては最も適任者を獲たことを大きな喜びとしている。同君は故伊藤忠兵衛翁の長男であり父子二代にわたって熱心なロータリーアンである。青年時代から今日に至るまで繊維を中心として関西財界における足跡とともに、社会に対するお顔も極めて広く、ロータリーに対する知識が豊富でそれに熱情を注いで今日に至っている。

次年度才69回国際ロータリーの世界大会が東京で開催され、ロータリーに対する国民の関心が更に大きく盛り上ったその直後を承けて、日本ロータリーの発展に大きな貢献をされるものと期待している。

次回例会案内 昭和52年1月31日(月)於海南商工会議所

ゲスト 日本催眠心理学研究所 講師 岩井貞治氏